

反歌

三三四〇番

おもちち 母父も 妻も子どもも 高々に 来むと待つらむ
ひと かな 人の悲しさ

三三四一番

いへびと 家人の 待つらむものを つれもなき 荒磯をま
きて 伏せる君かも

三三四二番

うら 浦ぶちに 伏したる君を 今日今日と 来むと待
つらむ 妻しかなしも

三三四三番

うらなみ 浦波の 来寄する浜に つれもなく 伏したる君
が 家道知らずも